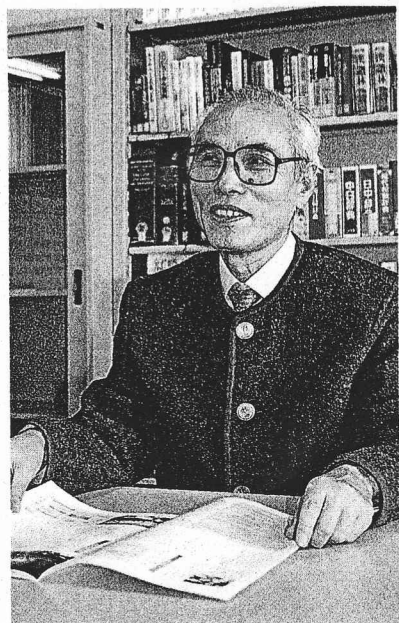


# 日本ユネスコ 国内委員会

は各界の六十人からなり、



# 郷土の教育に力

発展途上国での教育の普及や文化遺産の保存、地球環境保全などに取り組むユネスコ（国連教育科学文化機関、本部・パリ）の趣旨を生かし、地域でその精神を広める活動を進める岡山ユネスコ協会会長の三宅正勝さん（左）岡山市高屋Ⅱが一日で日本ユネスコ国内委員会の代表委員に任命された。三宅さんに今後の抱負や活動方針を聞いた。（社会部・岸俊行）

「日本ユネスコ国内委員会はどんな組織で、代表委員としてどのような活動をしていきたいか。」  
 「文部省に設置された機関で、わが国におけるユネスコ活動に関して、助言や企画などを担う。代表委員は中国地方の代表として各地のユネスコ協会と日本ユネスコ国内委員会のパイプ役を務め、ネットワークを強くして相互の活動内容を考え方の理解を深めていき

「国際、環境、心の教育に、郷土の教育を加えた『3Kプラス1』の教育に力を入れたい。日本人は外国に出たとき、日本の文化や風土を説明できないことがよくある。これと同様に他県に行ったときに自分の県の良いところをうまく伝えることができない。世界レベルの遺産に関心を持つだけでなく、それぞれの郷土の誇るべき宝を探し

「六月に岡山市内で開いた環境のバックグラウンドを詳しく知ることで問題意識が高まり、より地球全体に関心を持つことができると思う。」

## 環境サポートセンター 岡山への誘致実現を

「六月に岡山市内で開いた環境のバックグラウンドを詳しく知ることで問題意識が高まり、より地球全体に関心を持つことができると思う。」

岡山ユネスコ協会が現在、進めている環境サポートセンター構想とはどんなものか。

岡山ユネスコ協会は今、立ち初めらるる環境保全活動を行い、一九九四年から毎年『ユネスコ地球環境講座』を開いてきた。その活動の中で、日本ユネスコ協会連盟のネットワーク内に環境サポートセンターを設け、世界各地の市民運動から得られた環境情報を収集、解析して各地の実情に合わせた情報を地球規模で発信、活動をしていきたいという構想が生まれ

「六月に岡山市内で開いた環境のバックグラウンドを詳しく知ることで問題意識が高まり、より地球全体に関心を持つことができると思う。」

岡山ユネスコ協会が現在、進めている環境サポートセンター構想とはどんなものか。

岡山ユネスコ協会は今、立ち初めらるる環境保全活動を行い、一九九四年から毎年『ユネスコ地球環境講座』を開いてきた。その活動の中で、日本ユネスコ協会連盟のネットワーク内に環境サポートセンターを設け、世界各地の市民運動から得られた環境情報を収集、解析して各地の実情に合わせた情報を地球規模で発信、活動をしていきたいという構想が生まれ

「六月に岡山市内で開いた環境のバックグラウンドを詳しく知ることで問題意識が高まり、より地球全体に関心を持つことができると思う。」

岡山ユネスコ協会が現在、進めている環境サポートセンター構想とはどんなものか。

岡山ユネスコ協会は今、立ち初めらるる環境保全活動を行い、一九九四年から毎年『ユネスコ地球環境講座』を開いてきた。その活動の中で、日本ユネスコ協会連盟のネットワーク内に環境サポートセンターを設け、世界各地の市民運動から得られた環境情報を収集、解析して各地の実情に合わせた情報を地球規模で発信、活動をしていきたいという構想が生まれ

焦点インタビュー